

◎ 米沢市立東部小学校

若手・ベテラン教員が共に成長する学校

本校は、学区内に奥羽本線JR米沢駅や国道13号線を抱える米沢の東玄関口に位置し、今年度創立142周年を迎えます。児童数578名23学級の歴史と伝統あふれる学校です。

平成26・27年度の2か年「パナソニック教育財団より特別研究指定校」の指定を受けています。本校に勤める教職員49名は経験年数も職種も多様です。職場に多くの人材が集まるからこそ、その個性や専門性を活かすことで学校全体がいきいきとします。そしてその多様性を活かしながらどの学級においても均質かつ上質な教育を提供し、児童が身に付けるべき力を確実に伸ばさなければなりません。そこで、若手教員とベテラン教員との協働による校内OJTモデルを開発しようとしています。研究により教員の力量を向上させて、子どもたちの「知・徳・体」をバランスよく育てていきます。OJTモデル開発は次のように行っています。

学力向上のための「児童の聞く力」を育てる新しい授業の創造

聞く力を育てるには聞かせる授業が必要です。聞かせるためには授業で話し手に集中させなければなりません。そのためにICTを積極的に導入しその効果を検証しています。

校務の精選と効率化

担任の行うべき校務の情報化を進めています。効率化を主眼にベテランと若手が相互に校務処理能力を高め合います。全員が簡単に確実に校務処理を遂行できるシステムを築きます。

OJTとは
On the Job Trainingの略で、日常の校務を通じた人材育成で、教職員が互いに学び合いながら、意識的、計画的に能力を高めていく取り組み。



◎ 酒田市立浜田小学校

受け継ぐ酒田の心粹

本校は、酒田市の中心街の東部に位置し、児童数234名（10学級）創立130周年の歴史ある学校です。毎年5月20日にある酒田祭りでは、学区内を祭り山車行列が練り歩く、祭りの中核を担う地域になっています。以前は、PTAを中心に参加児童を募り、酒田青年会議所から受け継いだ船山車と北前太鼓クラブをメインにして参加していました。平成24年度からは、祭りそのものを自ら楽しんだり、酒田の子どもの元気を沿道の人々に発信したりする体験を通して、ふるさと酒田のよさを感じ、ふるさとに誇りを持つ豊かなたくましい心を育てることをねらいとし、授業の一環として全校体制で参加することにしました。

全校体制になってからは、PTA祭り委員会を発足させ、児童を主体としながらも保護者の全面協力の下、オリジナ

元気発信 浜田丸！

ルの山車やみこしを製作し、「浜田小から元気を発信しよう」を合い言葉に山車行列に参加しています。

また、酒田まつりの歴史について学習したり、本地区の伝統芸能である天狗舞や獅子舞がクラブ活動として新設されたりして、「酒田の心粹」が教育活動の中で広がりを見せています。

子ども達は山車製作のお手伝いをしたり、行列に使う小物を作ったりして製作に関わり、また、御輿の担ぎ方や独特の声のかけ方などを地域の方から教えていただいたりして、地域の方とのふれあいを深めています。今までは「祭りを見に行く」といった親子が、今は「祭りに出る」という感じで、その視点が180度変わり、「酒田まつり」が単に見に行くものから、自らが参加し発信する「おらほのまつり」として定着してきました。

これからも伝統を受け継ぎながら、新しいものを創造し、発信していくことができたらと考えています。



伝統の船山車に乗る



山車の上での北前太鼓の演奏



勇ましいみこし担ぎ